

2007 年度後期 情報統計学 試験（1月30日）の案内

概略

- 試験会場はK308教室で、いつもの講義と同じ部屋です。指定席としますので、教室の前に掲示してある座席表を確認して、正しい席に座ってください。座席表に掲示されているのは学生番号だけで、名前は掲示されていませんので、注意してください。
- 試験時間も、いつもと同じ10:30～12:00です。遅刻は試験開始後30分まで認められ、また試験開始から30分経過後は答案を提出して退出できます。

試験に持ち込めるもの・持ち込めないもの

- 学生証は必ず持参し、試験中は机の上においてください。試験中にチェックします。また、筆記具、電卓、時計は持ち込み可です。
- このほかに、「A4サイズの紙1枚」を持ち込み可とします。この紙には、両面に何を書いてもかまいません。
- これら以外は一切持ち込み不可です。解答に必要な数表は、問題用紙と一緒に配ります。なお、携帯電話を時計や電卓として使うことはできません。
- 上記の規定に違反しているのを発見した場合は、不正行為とみなします。

試験の内容と成績評価の方法

- 範囲は講義で説明した内容に限ります。問題数は3問の予定です。
- 成績は、期末試験の結果に75%、出席点に25%の比重をおいて評価します。
- 2月12日の朝9:30から翌13日午後4:00まで、成績をウェブサイトで発表します。このウェブサイトは、受講生だけに通知されるパスワードがないと見られないものとします。詳細は、試験の後で送信されるパスワード通知メールを見てください。また、自分の成績に疑義がある場合は、2月13日午後4:00までに浅野に連絡してください。浅野は、2月12、13日の両日は、なるべく部屋にいるようにしています。
- 再試験等はいりません。ただし、やむを得ない事情で試験が受けられなかった場合は、総合科学部の教務担当係に申し出てください。追試験を受験できる場合があります。

その他

- 答案は他人に見せる文章ですから、思考の筋道がわかるように、「～とすると、... であるから○○となる」という「日本語」をきちんと書いてください。式や数だけをならべたような答案は、たとえ解法と答えが合っていても減点します。
- 試験の際、トイレ等による一時退出は認めませんので承知しておいてください。